

新長田キャンパスプラザ(仮称) (県立総合衛生学院建替整備事業)

- 兵庫県立総合衛生学院の校舎老朽化に伴い、新長田駅南地区に様々な教育機関が集う教育複合ビルを新設。
- 総合衛生学院を当ビルに移転するとともに、阪神・淡路大震災で甚大な被害を受けた新長田地区の活性化を図るため、兵庫県立大学・兵庫教育大学のサテライトキャンパスを誘致。
- 地元企業人材のスキルアップや、地域の課題解決等に取り組む起業家の育成・支援機能を県立大学に設置するほか、各学校での積極的な地域交流等により、まちの賑わいづくりに貢献します。

建物の概要

- 移転場所 神戸市長田区腕塚町5丁目
- 施設概要 鉄骨造9階建、延床面積約12,000㎡
 - ・**兵庫県立総合衛生学院〔1～4階〕**
医療・介護職養成の県立専門学校(学科:助産 看護 歯科 介護)本校と分校(介護福祉学科)を集約し、医療・介護の連携を推進
 - ・**兵庫県立大学〔5階〕**
企業人材育成のリカレント学習拠点(地元企業人材のスキルアップ等)産学融合型ベンチャー・スタートアップ支援拠点産学連携・研究推進機構の神戸地区拠点(地場産業のDX支援等)
 - ・**兵庫教育大学〔6～8階〕**
働きながら学べる現職教員等の教育拠点子どもの不登校や発達障害、大人のストレスなどに関する相談(現神戸ハーバーランドキャンパスを移転・拡充)
 - ・**講堂〔9階〕**
- 工事スケジュール(予定)
建設工事: R5年1月18日～R6年10月、供用開始: R7年4月

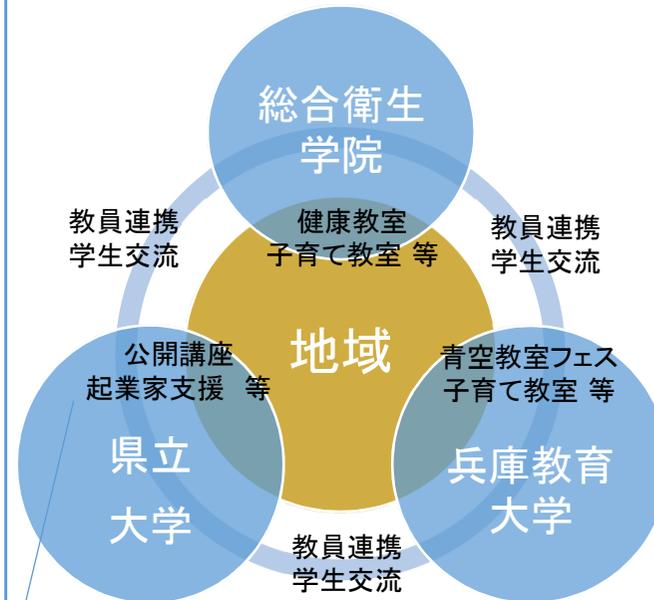
外観イメージ



移転による効果

1. 交流人口の増加、地域交流等によるまちの賑わいづくりへの寄与
2. 三者連携による教育の質の向上(教員のスキルアップ、学生交流等)
3. 交通アクセス向上等による総合衛生学院の魅力アップ

地域交流・三者連携のイメージ



- 〔交流人口の増加〕
①交流人口: +1,000人/日
〔地域交流等〕
①住民の方々が参加できる各種教室、イベント、県立大学による公開講座等
②地域の課題解決等に取り組む起業家によるにぎわい創出

- 〔三者連携〕
①教員の相互活用
②教員のスキルアップ
・リカレント講座の相互開放等
③学生交流
・地域向けイベントの共同開催
・「学生カレッジ」スペースを活用した異業種間交流等

- ・起業家が気軽に集い、チャレンジ・交流できる場の提供
- ・地域の課題解決等に取り組む学生及び女性など、ゼロスタートで起業する起業家を育成・支援等